

令和6年7月22日

南箕輪村議会議長 様

提出者名 都志 今朝一

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	県町村議会議員研修会
研修・視察実施場所	松本市 キッセイ文化ホール
研修・視察の期間	令和6年7月12日
研修・視察の成果等	講演①議員のなり手不足は「住民自治の危機」その打開の道を探る。講師 江藤俊昭氏 全国町村議会議長会『町村議会議員のなり手不足に潜む3つの危機』を読む 【報告書の3つの特徴】〈3つの特徴と緊急課題の認識〉今こそ打開の道を「ゆでガエル」になら無いために。縮小社会に打は不可欠（住民、議員、首長等による総力戦）で打開の道を探る必要性を感じ取った。〈報告書の2つの想い〉サブタイトルにある、「議会の取り組みと幅広い協働による地方自治の未来を創る」。幅広い協働が重要であると投げかけている。原因については多岐にわたっており総合的に解決をする事が視点と訴えている。また、女性議員の増加は議会の存在意義にとって不可欠とも訴えている。無投票・定数割れ団体数・割合は右肩上がり、原因の一つに地域コミュニティの衰退が進行すれば、容易に無投票に向かう事とも指摘しコミュニティの在りかたの重要性を訴えている。議会の存在意義は住民の多様性を反映した合議体である事。無投票は、議会の意志決定・政策立案・行政監視などの機能に大きな影響を及ぼし、議会の存在意義や二代表制が機能不全となるとも警鐘をならす。地域コミュニティの限界、地域における担い手の不足、女性進出の遅れ、家族・親族の反対等による立候補断念等も原因の大きな問題として上げている。他に女性議員の増加は存在意義にとって不可欠であり、議員のなり手不足の「特効薬」になる。女性の社会進出や政治参画を後押し、立候補の障壁除去する事が解決すべきが議会の存在意義の第一歩とも進言している。村の3年後の議会議員の選挙が、なり手不足により無投票・定数割れに成らないよう、今後の活動にも先をみすえた活動を行いたい。

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。